**鳥獣保護管理捕獲コーディネーター登録申請書様式集**

**（令和７年度）**

令和７年８月

環境省

様式第1-1号（第４条第1項関係）

＊

写真

1.縦36～40mm

2.横24～30mm

3.本人単身胸から上

鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書

鳥獣保護管理捕獲コーディネーター登録申請書

|  |  |
| --- | --- |
| （※ふりがな）※氏 　　名 |  |
| 生年月日 | 　　　　年　　　　月　　　　日生　　（　　　　歳） |
| 現　住　所 | 　〒　電話番号：　　　　　　　 （　　　　　）携帯電話：　　　　　　　 （　　　　　）e-mail： |
| 所　属　先 | 所属先名：　役職名：　　〒　電話番号：　　　　　　 （　　　　　）e-mail： |
| 連　絡　先 | ※連絡先名：　※役職名：　〒　電話番号：　　　　　　 （　　　　　）e-mail： |
| ※対象鳥獣 | □ イノシシ　 　□ ニホンジカ 　　□ ツキノワグマ　 　□ ヒグマ□ カモシカ　　　 □ ニホンザル 　 □ カワウ　□ 外来鳥獣（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　）□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　 　　　　　　　　　） |
| ※活動地域 | □ 北海道 □ 東北　　　　□ 関東　 □ 北陸　　　　□ 中部　　□ 近畿 □ 中国　 □ 四国 　□ 九州　　　　□ 沖縄 |

|  |
| --- |
| **狩猟免許**について（所持する免許に☑を付ける） |
| □　第１種銃猟免許（　　　　年　　月取得）□　第２種銃猟免許（　　　　年　　月取得）□　わな猟免許　　（　　　　年　　月取得）□　網猟免許　　　（　　　　年　　月取得） |
| **認定鳥獣捕獲等事業者**、**農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー**について |
| □ 認定鳥獣捕獲等事業者（□ 事業管理責任者　□ 捕獲従事者）□ 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー（農林水産省） |
| **鳥獣管理士**、**シカ捕獲認証**について　証明書類を添付すること |
| □ 鳥獣管理士 １級　□ 鳥獣管理士 準１級　□ シカ捕獲認証　DCC１ |
| 鳥獣保護管理法の違反歴の有無について□　過去に、鳥獣保護管理法に違反したことはない。 |
| ※鳥獣保護管理活動の経歴（１５０字程度） |
|  |
| 　　上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護管理捕獲コーディネーターとして登録を受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第４条第１項の規定に基づき申請します。　鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合は、記載した項目（氏名、連絡先の名称、役職、対象鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報）について、環境省のホームページ等において公表することを承諾します。　　　　　　　　　　　　　 　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　 氏　名 　　　　　　　　　　　 　 　　環境省自然環境局長　　殿 |

**記入上の注意：**

* 「氏名」等、※がついている項目は登録された場合にホームページ等で公表されるため、公表して差し支えない情報を記載すること。
* 「対象鳥獣」欄には、別紙１－２の実績で記載されている種類について記載すること。
* 「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。
* 書類内容について確認を取ることがあるため、連絡先には連絡可能な電話番号、メールアドレスを記載すること。
* 登録後に虚偽の記載が認められた場合には、登録を取り消すことがある。

（別紙１－２）鳥獣の捕獲の指導に関わる実績

※実務経験年数の考え方と審査方法は、【鳥獣保護管理捕獲コーディネーター募集要項】p６～p８を必ず確認すること。

※【鳥獣保護管理捕獲コーディネーター募集要項】p12～の記入要領を確認し、不足がないように記載及び証明書類を提出すること。

（１）－（ア）有害鳥獣捕獲の**捕獲隊等の隊長として**隊員へ捕獲の指導を実施した実績

令和７年３月３１日までに、有害鳥獣捕獲の捕獲隊等（鳥獣被害防止特別措置法（農林水産省）による鳥獣被害対策実施隊を含む）の隊長として隊員へ捕獲の指導を実施した実績について、指導内容及び成果を具体的に記述し、該当する証明書類に✓を付けること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 地方公共団体名 |  |  |
| 対象鳥獣 |  |  |
| 捕獲隊等の隊長として指導した年度 | 　　　　　　年度 ～　　　　　　　年度 |  |
| 捕獲隊等の名称 |  |  |
| 証明書類※右に示した書類の内、1つのみ提出し✓を付ける | □　捕獲隊等の隊長として任じられた証明書（辞令等）の写し* 別紙２
 |  |
| 指導内容 |  |  |
| ※目標を達成する為にどのような指導をしたか、安全な捕獲をするためにどのような指導をしたか等。 |
| 指導の成果 |  |  |
| 備考 | ・捕獲隊等の隊長として任じられたことを証明するもの（辞令等）の写しを添付すること。・証明できる書類がない場合、別紙２を用いて任命した地方公共団体に証明を依頼し、必要事項を記入し、証明書として添付すること。**・証明書類がない場合は実績と認められないため、確実に添付すること。** |

（１）－（イ）公的な捕獲業務を受託し、**現場責任者として、**受託者組織内の捕獲従事者に捕獲の指導を実施した実績

令和７年３月３１日までに、指定管理鳥獣捕獲等事業等の公的な捕獲業務を受託し、捕獲を実施する過程で現場責任者として、受託者組織内の捕獲従事者に捕獲の指導を実施した実績について、指導内容及び成果を具体的に記述し、該当する項目に✓を付けること。

|  |  |
| --- | --- |
| 実績の詳細 |  |
| 事業名 |  |  |
| 履行期間 | 　　　　年　　　　　月　～　　　　　　年　　　　　月（　　か年度） |  |
| 発注機関 |  |  |
| 受託者名 |  |  |
| 対象鳥獣 |  |  |
| 実施時の所属・役職 |  |  |
| 指導時の役割 | * 現場責任者として指導した
 |  |
| 指導対象 |  |  |
| 証明書類※右に示した書類の内、1つのみ提出し✓を付ける | * 業務計画書等（指導時の役割がわかる書類）の写し
* 別紙３
 |  |
| 指導内容 |  |  |
| 指導の成果 |  |  |
| 備考 | ・当該様式は、適宜コピーして追加してよい。・証明できる書類がない場合、別紙３を用いて実施時の所属長に証明を依頼し、必要事項を記入し、証明書として添付すること。**・証明書類がない場合は実績と認められないため、確実に添付すること。** |

（２）業務として鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を**現場責任者として外部組織の者**に実施した実績

令和７年３月３１日までに、行政または研究機関、民間団体等の職員等として、業務における鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲指導の現場責任者となり、外部組織の者を対象に指導を実施した実績について、指導の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述すること。該当する項目に✓を付けること。

|  |  |
| --- | --- |
| 実績の詳細 | ＊ |
| 事業名 |  |  |
| 履行期間 | 　　　　年　　　　　月　～　　　　　　年　　　　　月（　　か年度） |  |
| 発注機関 |  |  |
| 受託者名 |  |  |
| 対象鳥獣 |  |  |
| 実施時の所属・役職 |  |  |
| 指導時の役割 | * 現場責任者として指導した
 |  |
| 指導対象 |  |  |
| 証明書類 | * 仕様書のコピー　※業務を受託して実施した場合は必須。
* 業務計画書等（指導時の役割がわかる書類）の写し
* 別紙４

※業務計画書等の写しと別紙４はどちらか１つ |  |
| 指導内容 |  |  |
| 指導の成果 |  |  |
| 備考 | ・当該様式は、適宜コピーして追加してよい。・事業の対象となった鳥獣の種類を明記すること。・証明できる書類がない場合、別紙４を用いて実施時の所属長に証明を依頼し、必要事項を記入し、証明書として添付すること。**・業務を受託して活動している場合は証明書類がないと実績として認められないため、必ず添付してください。****・行政職員として活動した場合は、証明書類は不要です。記述内容からのみ判断するため、申請者がどのような活動をしたか具体的に記載してください。** |

（３）－（ア）鳥獣被害防除対策等の指導を実施した実績

令和７年３月３１日までに、行政または研究機関、民間団体等の職員等として、**捕獲を除く鳥獣被害防除**（防護柵設置や追い払い、環境整備等）の指導を実施した実績について、事業の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 実績の詳細 | ＊ |
| 実施主体名 |  |  |
| 実施期間 | 　　　　年　　　月 ～　　　　年　　　月（　　か年度） |  |
| 実施地域 |  |  |
| 対象鳥獣 |  |  |
| 実施時の所属・役職 |  |  |
| 指導対象 |  |  |
| 提出書類 | * 仕様書のコピー　※業務を受託して実施した場合は必須。
 |  |
| 指導内容 |  |  |
| 指導の成果 |  |  |
| 備考 | ・当該様式は、適宜コピーして追加してよい。・事業の対象となった鳥獣の種類を明記すること。**・業務を受託して活動している場合は証明書類がないと実績として認められないため、必ず添付してください。****・行政職員として活動した場合は、証明書類は不要です。記述内容からのみ判断するため、申請者がどのような活動をしたか具体的に記載してください。** |

（３）－（イ）地方公共団体等が主催する鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会講師の実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施年月 | 　　　　　　年　　　　　　　　月 | ＊ |
| 講習会主催者名 |  |  |
| 対象鳥獣 |  |  |
| 講習会名 |  |  |
| 証明書類※右に示した書類の内、1つのみ提出し✓を付ける | □　講習会講師依頼状のコピー* チラシなどの講師名が記載されている書類のコピー
* 別紙５
 |  |
| 講習会の内容 |  |  |
| 備考 | ・当該様式は、適宜コピーして追加してよい。・講習会講師として任じられたことを証明するもの（依頼状等）のコピーを添付すること。・証明できる書類がない場合、別紙５を用いて任命した地方公共団体に証明を依頼し、必要事項を記入し、証明書として添付すること。**・証明書類がない場合は実績と認められないため、確実に添付すること。** |

（３）－（ウ）鳥獣保護管理員の勤務実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 都道府県名 |  | ＊ |
| 鳥獣保護管理員として勤務した年度 | 　　　　　　　　　年度 ～ 　　　　　　　　年度 |  |
| 証明書類 | * 鳥獣保護管理員の勤務実績を証明するもの（任命書等）のコピー
 |  |
| 勤務内容 |  |  |
| 備考 | **証明書類がない場合は実績と認められないため、確実に添付すること。** |

（別紙２）有害鳥獣捕獲等の捕獲隊の隊長として従事した証明書

有害鳥獣捕獲等の捕獲隊の隊長として従事した旨の証明書

住　所

申請者

申請者が捕獲隊の隊長として下記内容で従事したことを証明いたします。

記

証明事項

|  |  |
| --- | --- |
| 地方公共団体名 |  |
| 対象鳥獣 |  |
| 隊長として従事した年度 |  |
| 捕獲隊の名称 |  |

　　　　　年　　　月　　　日

担当者等連絡先

部 署 名：

担当者名：

T　E　L：

E – mail：

（別紙３）現場責任者として受託者の捕獲従事者へ捕獲の指導を実施した旨の証明書

現場責任者として受託者の捕獲従事者へ捕獲の指導を実施した旨の証明書

住　所

申請者

申請者が現場責任者として下記内容で捕獲の指導を実績したことを証明いたします。

記

証明事項

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 履行期間 |  |
| 発注機関 |  |
| 受託者名 |  |
| 対象鳥獣 |  |
| 指導対象 |  |

　　　　　年　　　月　　　日

担当者等連絡先

部 署 名：

担当者名：

T　E　L：

E – mail：

（別紙４）現場責任者として外部組織の者に捕獲の指導を実施した旨の証明書

現場責任者として外部組織の者に捕獲の指導を実施した旨の証明書

住　所

申請者

申請者が現場責任者として下記内容で捕獲の指導を実績したことを証明いたします。

記

証明事項

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 履行期間 |  |
| 発注機関 |  |
| 受託者名 |  |
| 対象鳥獣 |  |
| 指導対象 |  |

　　　　　年　　　月　　　日

担当者等連絡先

部 署 名：

担当者名：

T　E　L：

E – mail：

（別紙５）鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会講師として従事した証明書

鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会講師として従事した旨の証明書

住　所

申請者

申請者が講習会講師として下記内容で従事したことを証明いたします。

記

証明事項

|  |  |
| --- | --- |
| 講習会名 |  |
| 地方公共団体名 |  |
| 対象鳥獣 |  |
| 実施年月 |  |
| 講習会内容 |  |

　　　　　年　　　月　　　日

担当者等連絡先

部 署 名：

担当者名：

T　E　L：

E – mail：

課題小論文用原稿用紙（手書用）

＊

募集要項にある専門分野ごとのテーマに沿って、1,500字以上2,000字以内で記述してください。

総字数 　　　　字　　論文タイトル

（２０×２０）